

旧制静岡高等学校関係資料の整理・公開のための発
展的事業（人文社会科学部重点プロジェクト）

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-05-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 今村, 直樹 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00010117

旧制静岡高等学校関係資料の整理・公開のための発展的事業

今村 直樹

はじめに

静岡大学人文社会科学部大学アーカイブズプロジェクトでは、静岡大学人文社会科学部所蔵の旧制静岡高等学校および静岡大学文理学部・人文学部関係資料の整理・公開に向けた作業に 2009 年度から取り組んでいる¹。

今年度の主な活動内容は、(1) 旧制静岡高等学校関係アルバムにおける写真資料の整理、(2) 写真帳の刊行、(3) 資料の展示、(4) ディスカッションペーパーの刊行、などであった。その具体的な動きについて以下で紹介する。

1. 2016 年度の活動

(1) 旧制静岡高等学校関係アルバムにおける写真資料の整理

本プロジェクトでは 2012 年度から 2015 年度にかけて、人文社会科学部資料室に保管されている旧制静岡高関係のガラス乾板の現像作業を進めてきた。その結果、総数 1008 枚におよぶ写真を現像することができ、2016 年 3 月にはそれらを目録化した『旧制静岡高等学校関係写真目録』を刊行した。

本年度は、上記の事業の更なる発展的継承をはかるため、これまで未整理であったアルバム類における写真資料の整理作業に着手した。旧制静岡高関係資料に存在するアルバム類には、『静岡大学の五十年 写真集』(静岡大学、1999 年) や、2016 年 3 月に開催された「フランスの広重 ノエル・ヌエット展」(日仏会館ギャラリー) などで紹介された重要な写真が多数収められている。しかし、アルバム類に写真の多くは、ほとんどが未公開のままである。

本年度は、旧制静岡高時代に作成された写真帳 2 冊(資料番号 15・16) に収められた写真資料について、学生アルバイトの力を借りながら重点的に整理作業を行った。その結果、合計 94 枚の写真資料についてスキャニング作業(600dpi)を終了し、その写真台帳を作成することができた。

(2) 写真帳の作成と刊行

(1) の作業終了後、その成果を公開する写真帳の作成を、学生アルバイトとともに行った。写真帳は、写真編と目録編の二部構成である。目録編は、(1) で作成した写真台帳をもとにしている。本稿執筆中の 2017 年 2 月中旬の段階で原稿はほぼ完成しており、今年度末には刊行できる見込みである。学外に対しては、本学部が所蔵する旧制静岡高関係資料の価値の高さを広く発信することができ、学内においても、大学広報などでの活用が大いに期待される。

¹ これまでの活動内容については、下記を参照いただきたい。戸部健「旧制静岡高等学校関係資料の整理作業に関する経過報告」『地域研究』創刊号、2010 年。戸部健「旧制静岡高等学校関係資料の整理作業に関する経過報告(2010 年度)」『地域研究』第 2 号、2011 年。戸部健・小二田誠二・岩井淳「旧制静岡高等学校関係資料の整理作業に関する経過報告(2011 年度)」『地域研究』第 3 号、2012 年。戸部健・橋本誠一・岩井淳「旧制静岡高等学校関係資料の整理作業に関する経過報告(2012 年度)」『地域研究』第 4 号、2013 年。戸部健・岩井淳・今村直樹「旧制静岡高等学校関係資料の整理作業に関する経過報告(2013 年度)」『地域研究』第 5 号、2014 年。戸部健・岩井淳「旧制静岡高等学校関係資料の整理および公開に向けた基礎的作業(2014 年度)」『地域研究』第 6 号、2015 年。今村直樹・橋本誠一「旧制静岡高等学校関係資料の整理・公開に向けた基盤整備作業(2015 年度)」『地域研究』第 7 号、2016 年。

(3) 資料の展示

昨年度に引き続き、今年度も人文社会科学部 A 棟玄関において資料の展示を行った。展示のテーマと内容は以下のとおりである。

「戦争と旧制静岡高等学校（3）」

展示期間：2016年7月～2017年3月（予定）

展示内容：戦時期の旧制静岡高に関する資料（1935～1940年）

「支那事変一周年ニ際シ下賜セラレタル勅語」、「満州国皇帝陛下奉迎歌」（『自昭和三年三月至同十二年十二月 文部省各部局往復書類 静岡高等学校』）、「学校教練用銃器配給ニ関スル件」（『昭和七年八月以降 発来翰綴 配属将校』）、「昭和六年九月 満州事変関係書類」、「昭和十年以降 訓示口演綴 配属将校」、「自昭和十三年 戦歿者綴 静岡高等学校」、「昭和十四年十月ヨリ同十七年三月迄 弾薬 出納ニ関スル綴 静岡高等学校」

今後展示するテーマとしては、「仰秀寮の歩み（2）」、「戦争と旧制静岡高等学校（4）」、「旧制静岡高等学校の廃校と人文学部への移行」などを予定している。

なお、今年度から人文 A 棟玄関の展示スペースに、昨年度までに整理した旧制静岡高関係写真の画像データをスライドショー形式で放映する、デジタルフォトフレームを設置した。

(4) ディスカッションペーパーの刊行

本年度からの新たな取り組みとして、旧制静岡高に関する調査・研究成果を公表する、ディスカッションペーパーの刊行があげられる。これは、旧制静岡高の学生寮を扱った本学部社会学科の4年生による卒業論文に、加筆修正と新たな史料紹介を加えたものである。今後、本学教員や学生による旧制静岡高および静岡大学文理学部・人文学部に関する調査・研究成果が生じた場合、ディスカッションペーパーとして継続的に刊行していきたいと考える。

2. 今後の課題

(1) 旧制静岡高等学校関係の文書資料の整理

旧制静岡高等学校関係の文書資料の整理については、近年作業の力点が写真資料の整理に置かれていたため、長らく作業がストップした状況にある。しかし、とくに冊子体の文書資料における細目録の作成は、資料の研究・公開などを進める上で非常に重要な作業である。写真集作成などの進捗状況を考慮しながら、早い時期に作業を再開できるようにしたい。

(2) 県外のアーカイブズへの訪問

昨年度・今年度は写真帳などの刊行に大きな予算を割いたため、従来行ってきた県外へのアーカイブズへの訪問を行うことが出来なかった。予算の問題はあるが、来年度からは再開し、地方の国立大学の事例などを中心に学んでいきたいと考える。